

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験実施場所 (〇)=試験実施中	試験の種類・試験設計〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量 l/a>; 処理方法等	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
パイナップル	③4 改良C-MH 液 (エルノー) (日本ヒドラジン工業)	マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン塩……………39	沖縄名護, 沖縄八重山. (2)	適用性〔冠芽伸長抑制〕 5月中・下・6月上旬; 40, 50倍; 冠芽散布.	継 実 継	実:〔パイナップル: 冠芽伸長抑制〕 開花終了後〜小果肥 大期前40〜50倍, 10 ml/本, 1回処理. 継: 濃度, 処理時期, 処理方法について.
温州	③5 スイカル		<自主> 静岡西遠. (1)	〔着色増進〕	—	

新 除 草 ・ 調 節 剤

バレージ®粒剤

ジメタメトリン・

プレチラクロール粒剤

(取扱メーカー) 武田薬品工業株式会社
クミアイ化学工業株式会社
日本チバガイギー株式会社

対象作物: 移植水稻

成分・作用特性: 本剤は, ジメタメトリン…2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(1, 2-ジメチルプロピルアミノ)-s-トリアジン…0.2%とプレチラクロール…2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド…2%を含有する粒剤である。

ジメタメトリンは光合成阻害剤であり, 特に藻類に対する効果が高く, 極めて低薬量で処理後2週間程度発生を抑制する。一方, プレチラクロールは雑草の幼芽部および根部から吸収されて植物体内を移行し, 作用点(蛋白生合成系)に到達して蛋白質の生合成を阻害して雑草を枯

殺する。

特長: ①アオミドロおよび表層はく離を含め広範囲の雑草に有効である。本剤は, ノビエをはじめとする一年生雑草およびマツバイ, ホタルイ, ミズガヤツリ, ヘラオモダカなどの多年生雑草を防雑できるばかりでなく, 近年問題になってきた本田初期の藻類や表層はく離の発生を防止する。②除草効果が安定している。処理適期幅が広く, 雑草がダラダラ発生する場合でも高い効果が得られる。また, ジメタメトリンを加えたことにより, プレチラクロール単剤の場合より, 除草効果が高まる傾向がみられる。③水稻への安全性が高く, 気象条件や湛水深などによる影響が少ない。

毒性: 人畜毒性は普通物, 魚毒性はB類である。

使用方法: 移植後3日からノビエ1.5葉期までに, 10a当り3kgを湛水散布する。ホタルイ, ミズガヤツリの発生量が多い場合には, なるべく早めの田植後5日頃までに本剤を処理し, これらの雑草に有効な中期除草剤との体系処理を行なうとよい。

使用上の注意：①本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失しないよう散布する。なお、雑草、特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれがあるので、必ず適期に散布する。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカに対しては発生前から発生始期まで、アオミドロ、表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。②コナギ多発田では効果が劣ることがあるので使用をさける。③苗の植付けが均一となるよう代かきはていねいに行なう。未熟有機物を施用した場合は、特に代かきはていねいに行なう。④散布に当っては、水の出入りを止め、湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は通常の湛水

状態(3～5 cm程度)を保ち、田面が露出することのないようにし、また落水やかけ流しはしない。⑤砂質土壌の水田、漏水の大きな水田(減水深2 cm/日以上)、軟弱な苗を移植した水田あるいは極端な浅植の水田では、初期生育の抑制が生ずるおそれがあるので使用しない。特に前述の条件と散布時または散布後数日以内に梅雨明けなどによる異常高温が重なると初期生育の抑制が顕著になるので注意する。⑥活着遅延を生ずるような異常低温が予測されるときは初期生育の抑制などの生ずるおそれがあるので、使用に際しては県の防除指針に基づき、関係機関の指導を受ける。

植 調 協 会 だ よ り

◎ 会計監査について

昭和62年5月6日(水)、昭和61年度事業の実施状況・収支決算につき監査を受けた。

◎ 第53回役員会開催す

昭和62年5月21日(木)、植調会館3階会議室において開催され、次の議案につき審議可決された。

1. 役員人事の件
2. 昭和61年度事業報告及び決算報告承認の件
3. 昭和61年度剰余金処分(案)承認の件
4. 昭和62年度事業計画及び予算(案)承認の件
5. 試験圃場購入並びに研究室整備の件
6. その他報告

1. 役員人事の件

このたび、理事としてご尽力をいただいた上井忠太郎氏、吉見康宏氏及び山崎慎一氏が退任された。長い間大変ご苦労様でした。

次の各氏が新たに理事に選任された。

新任理事 高橋省吾(三共株式会社取締役)

” 浜 宏幸(全国農業協同組合連合会
肥料農業部長)

” 高橋長二(前岩手県立農業試験場長)

2. 昭和61年度事業報告及び決算報告承認の件

1) 昭和61年度事業報告について

(1) 一般事業に関する事項

① 第51回役員会(昭和61年5月21日開催)

第52回役員会(昭和61年12月24日開催)

② 監査(昭和61年5月7日実施)

③ 評議員会(昭和61年9月25日開催)

(2) 受託・委託試験研究事業に関する事項